

アルゼンチンアリ(特定外来生物) に関する情報提供

千葉県衛生研究所 医動物研究室
竹村 明浩

千葉県衛生研究所 医動物研究室の業務

主に衛生動物に関する調査研究を実施している。

具体的には

- 保健所からの相談(食品・環境)
- 感染症媒介動物の生息調査(蚊・マダニ)
- 外来の衛生動物の生息調査(アルゼンチンアリ・セアカゴケグモ)
- 食品に寄生する寄生虫の調査

アルゼンチンアリに関する 情報提供をする理由は？

- 千葉県では侵入を確認してないが、いつ侵入してもおかしくない。
- 非常に強い繁殖力のため、発見した時には既に、駆除が困難な場合がある。
- 駆除が難しいため、被害も大きい。
- 早期に発見し、早期に駆除したい。

アルゼンチンアリとは

- 体長2～2.5mm、ハチ目アリ科のアリ。
- 針は持たないため、無毒。
- 原産地は南米(アルゼンチンやブラジルの一部)。
- 外来生物法(特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律)で定める特定外来生物。
- 1993年7月に広島県廿日市市で日本で初めて侵入を確認。現在、千葉県では未確認。

アルゼンチンアリ(右)と クロヤマアリ(左)

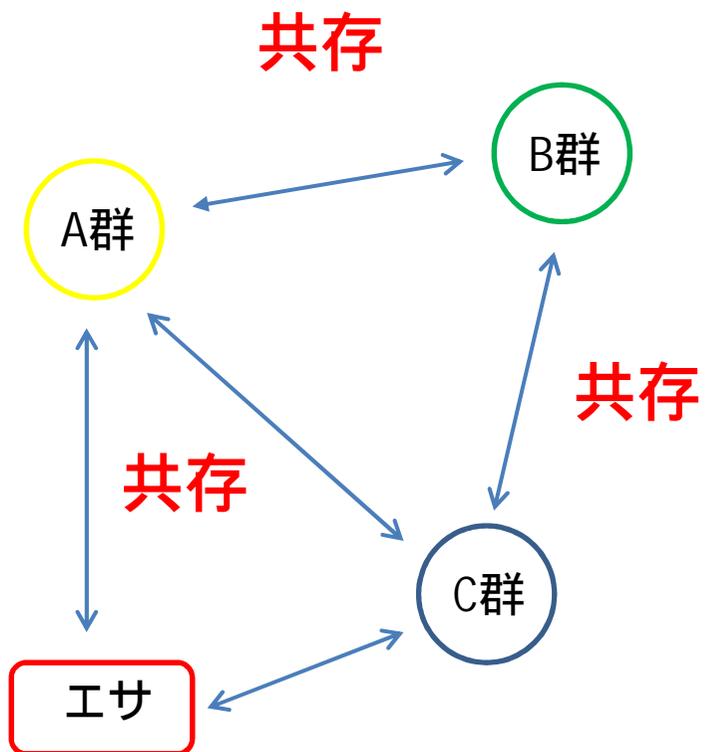


アルゼンチンアリは、細長く、体色は赤褐色から黒褐色

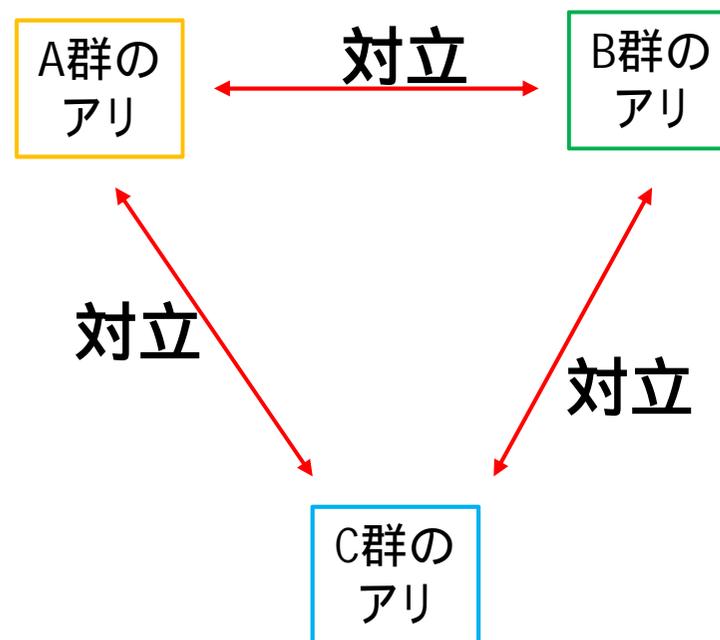
アルゼンチンアリの生態

- 働きアリの活動温度帯は、5～35℃。
- 巣は浅く、また木材や敷石の下、コンクリートの隙間など人工物を利用して巣を作ることもある。
- 一つの巣に女王が複数存在する、スーパーコロニーを形成。
- 結婚飛行は行わない。
- 食性は雑食性。

アルゼンチンアリのスーパーコロニー



一般的なアリ(同種)の巣間関係



アルゼンチンアリによる被害

- **不快害虫**

屋内に侵入し、台所に置いてある食べ物にたかったり、就寝中に体を這いずり回ったり、咬んだりする。

- **農業害虫**

アブラムシ等と共生関係を持ち、アブラムシ等の外敵から保護する。また果物やトウモロコシ等に直接被害を与える。

- **侵略アリとして生態系に影響**

在来のアリを攻撃し、在来アリを駆逐してしまう。地域の生態系が崩れてしまう。

国内における侵入状況

•侵入が確認されている都道府県

東京, 神奈川, 静岡, 愛知, 岐阜, 京都,
大阪, 兵庫, 岡山, 広島, 山口, 徳島
(12都府県)

参考資料: 国立環境研究所 侵入生物データベース

侵入経路

- 海外からの侵入
木材やコンテナに随伴して国内に侵入。
切り花や園芸植物、園芸資材に付着。
- 国内の侵入地域からの拡散
侵入地域からの物資の移送に伴う侵入。
植物の植樹、木材、資材、プランター等の移動。

千葉県としての生息調査状況

- 平成24年度から、千葉県衛生研究所と千葉大学海洋バイオシステムセンターで、千葉県内の東京湾沿岸地域を中心に定点を設置し、調査を実施。
- 調査時期は、5月と10月、各1回。

調査実施地点



調査風景



エサはツナ缶 + 蜂蜜



約10m間隔で10個設置



30分後に回収

現在の状況

調査の結果、アルゼンチンアリの生息は確認していない。

また、アルゼンチンアリと負の相関がある、クロヤマアリやトビイロシワアリが優先的に確認されていることから、現時点において調査地にアルゼンチンアリが侵入している可能性は低いと考えている。

こんな場合は、 アルゼンチンアリの侵入に注意！

1. 一般的によく見かける、クロヤマアリを最近見かけなくなった。複数種のアリがない。
2. 小さく、細長いアリを見かける。
3. アリは行列をつくり、また動きが速い。
4. 落ち葉の間やコンクリートの隙間など、狭いところにいる。
5. 室内に侵入し、食べ物にたかっている。

簡単なアルゼンチンアリの モニタリング調査方法

- トラップでアリをおびき寄せる。
- 冷凍、熱湯、殺虫剤などで絶命させる。
- 虫眼鏡などを使って観察(実体顕微鏡があればベター)。



アルゼンチンアリの見分け方

1. 体色は赤褐色から黒褐色
2. 体長は2.5 ~ 3.0mm
3. 体は細身である



最後はじっくり観察、次へ

その他: アルゼンチンアリは動きが速い

4. 腹柄節()の数



- 腹柄節の数 (1 or 2) → 1なら次へ

5 . 腹部末端（尻）の形状

ヤマアリ(左), カタアリ(右), ハリアリ(下)



丸く開口している



開口部は割れ目状



針がある

- 針がなく、開口部が割れ目状なら要精査

アルゼンチンアリと疑われる アリが見つかった場合

ア리를保健所へ持参し、確認してもらおう。



アリの種類が何かわからなくても、アルゼンチンアリかどうかは確認できると思う。

但し、特定外来生物の生きたままの移動はできないので、必ず**絶命**してから持参すること。

参考資料

- アルゼンチンアリー斉防除マニュアル
(環境省中部地方環境事務所)
- アルゼンチンアリ防除の手引き
(環境省中国四国地方環境事務所)
- アルゼンチンアリ防除の手引き
(環境省自然環境局野生生物課外来生物対策室)
- 日本産アリ類画像データベース

上記全て、インターネット上で閲覧できます。